



第2章

都市構造の 現状分析



2-1. 人口・土地利用

(1) 人口の推移・見通し

- 昭和55年(1980年)以降の推移を見ると、市全体の人口は一貫して減少を続けており、令和2年(2020年)には33,633人となっています。今後も減少傾向は続き、令和27年(2045年)には21,571人まで減少することが見込まれます。
- 3区分別人口では、老年人口(65歳以上)比率の上昇傾向が顕著となっており、年少人口(0～14歳)比率と生産年齢人口(15歳～64歳)比率は減少傾向となっています。今後は、生産年齢人口比率と老年人口比率がほぼ同率となる一方で、全ての世代で人口減少傾向となることから、3区分別の人口比率については横ばいとなっていくことが見込まれます。

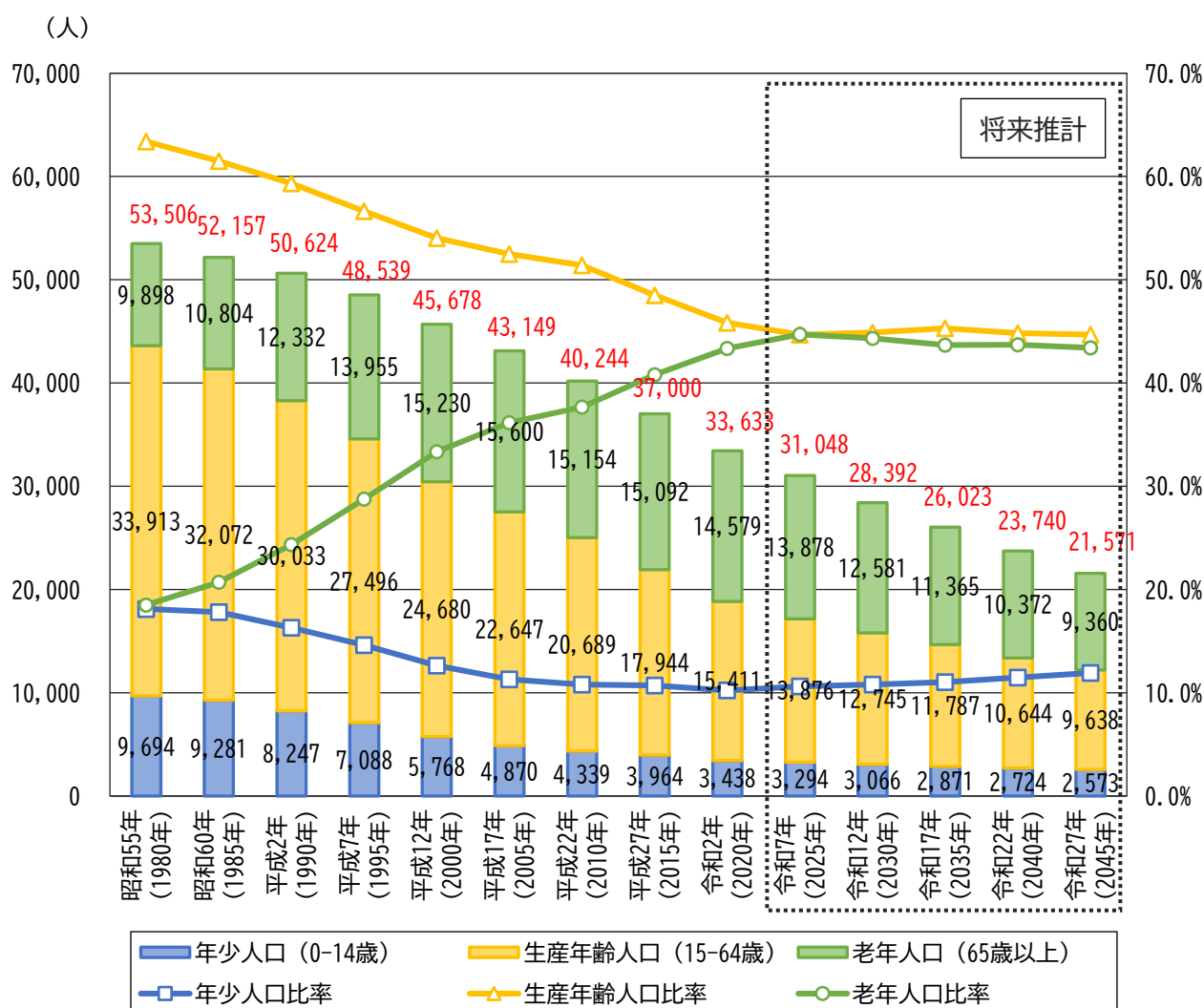


図 3区分別人口の推移・見通し

資料：国勢調査（昭和55年～令和2年）、社人研推計（平成30年推計）

(2) D I Dの変遷

● D I D (人口集中地区) は、かつて庄原都市計画区域に形成されており、昭和 50 年(1975 年)から平成 2 年(1990 年)までの変化では範囲の拡大が見られますが、平成 17 年(2005 年)には備後庄原駅の北側への拡大が見られる一方で、全体的な面積は縮小しました。また、平成 22 年(2010 年)以降は人口の減少により D I D の基準を満たす区域がなくなっています。

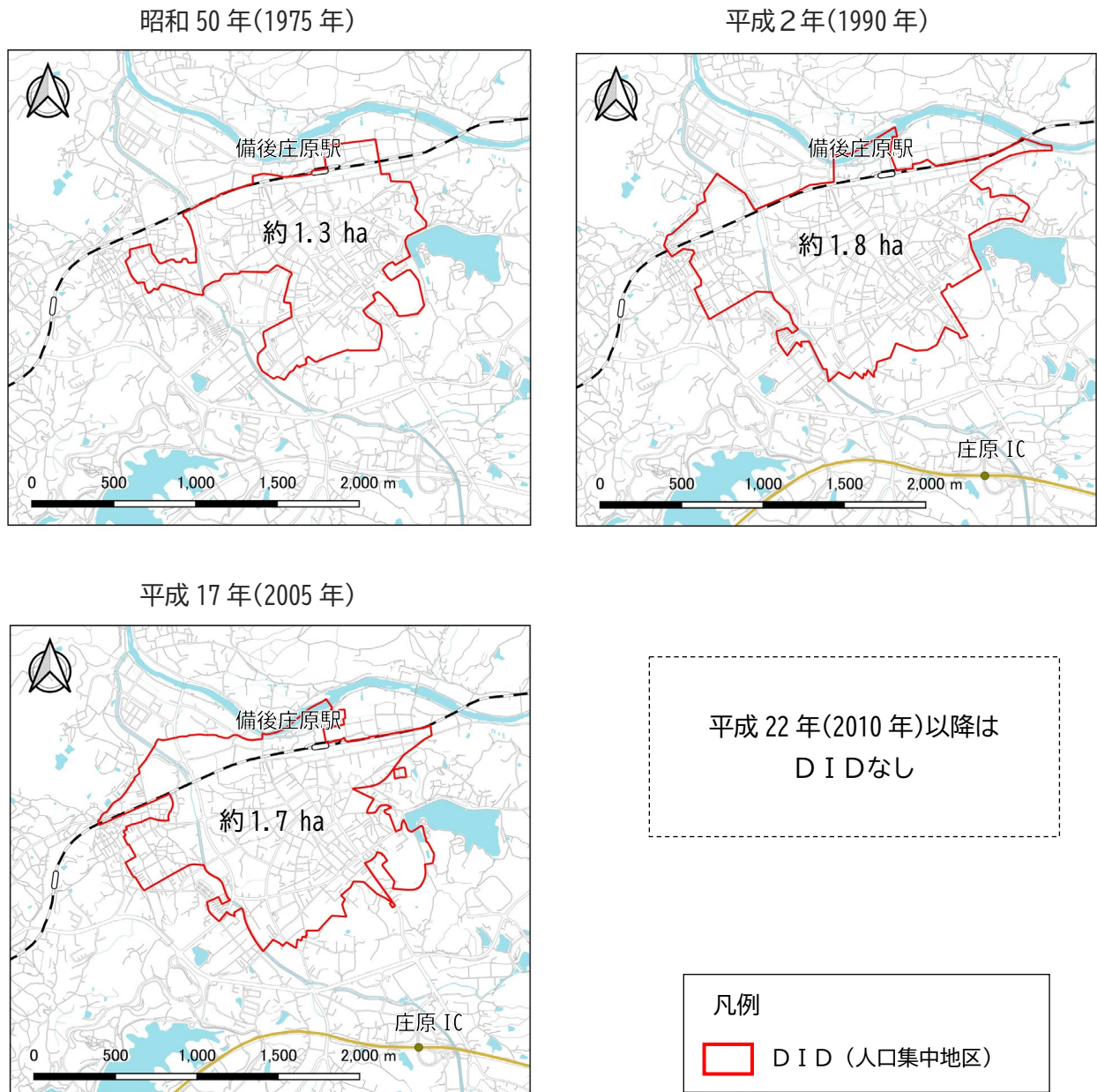


図 D I D の変遷

資料：国土数値情報

※ D I D (人口集中地区)・・・市区町村の区域内で人口密度が 40 人/ha 以上の基本単位区(国勢調査における調査区) が互いに隣接し、合計の人口が 5,000 人以上となる地区

(3) 用途地域

- 用途地域は、庄原・東城・西城の各都市計画区域に設定されています。
- 鉄道駅やインターチェンジ（IC）を中心としたエリアに住居系・商業系・工業系用途地域が設定され、中心市街地としての土地利用の方向性が定められています。

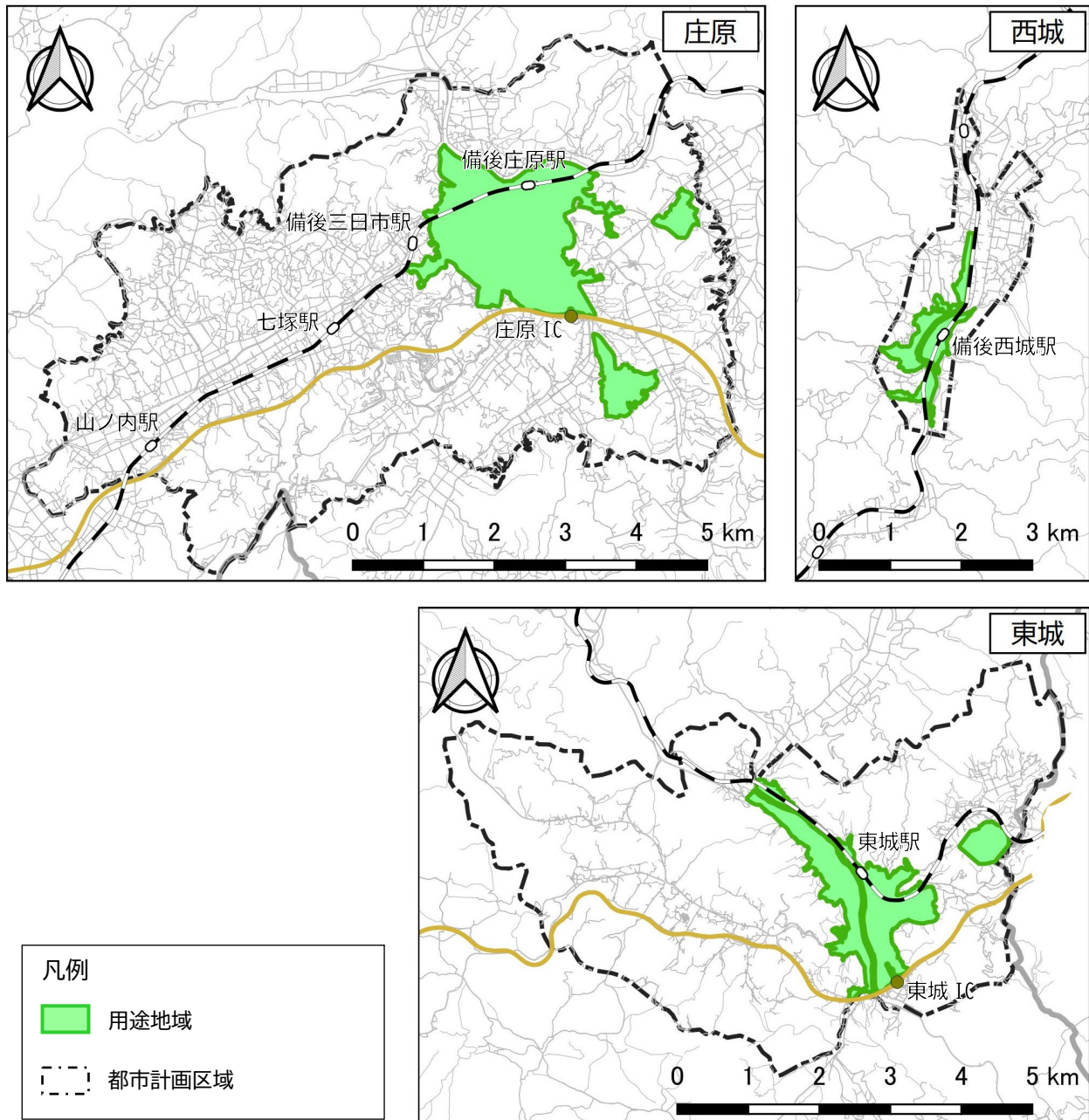
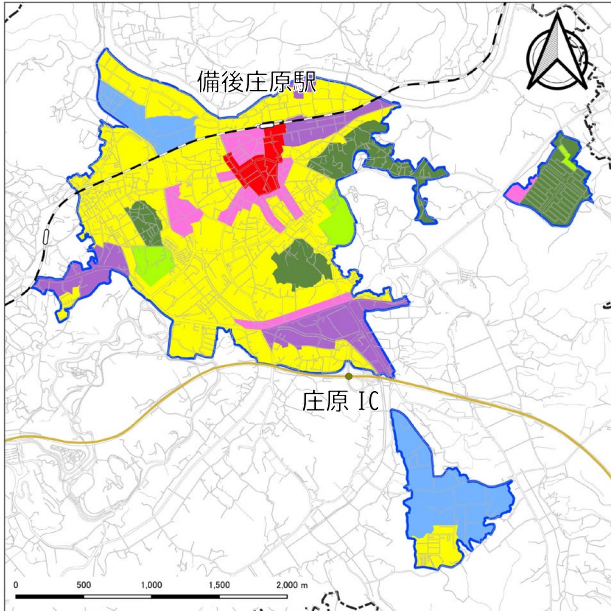


図 用途地域の指定状況

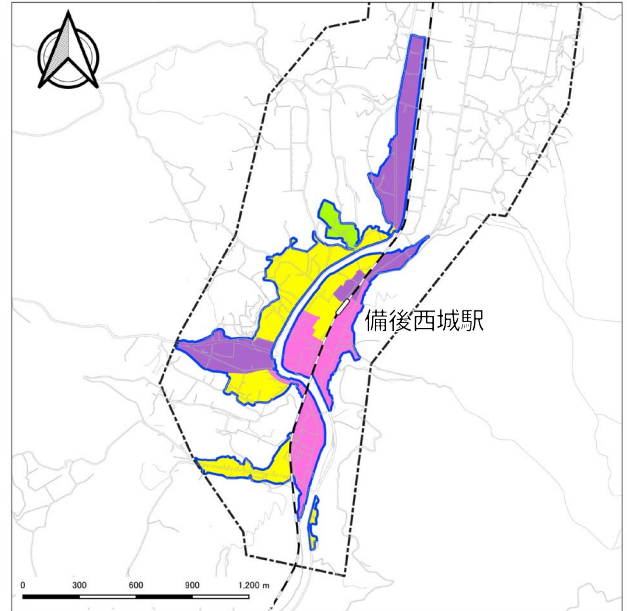
資料：庄原市資料

※用途地域・・・都市計画法に基づいて定められ、市街地の大枠としての土地利用を定めるもの。似た土地利用を集めて効率的な活動を行うことを目的とし、13種類の用途を設定することができる。

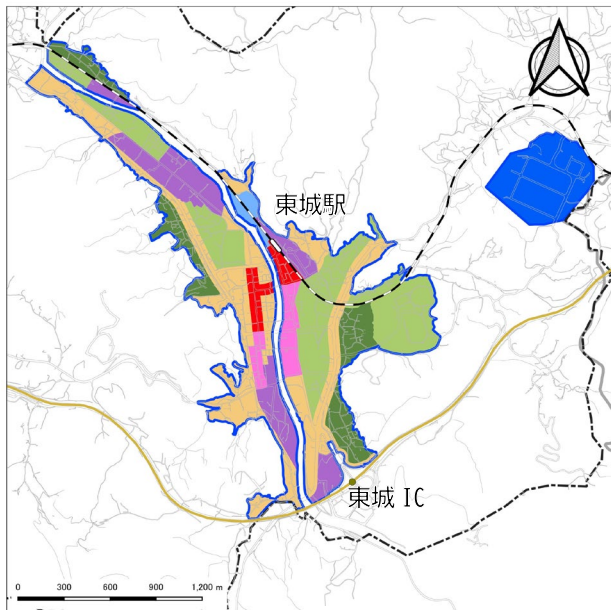
●庄原都市計画区域では、備後庄原駅～庄原 I C のエリアに住居系用途地域が広く設定され、備後庄原駅周辺は商業地域となっています。また、庄原 I C 南側には工業地域が設定されており、工業団地が形成されています。



●西城都市計画区域では、備後西城駅を中心としたエリアに住居系・商業系用途地域が設定され、備後西城駅南側には近隣商業地域が設定されています。



●東城都市計画区域では、東城駅や東城 I C を中心としたエリアに住居系・商業系・工業系用途地域が設定されています。また、東端には工業専用地域が設定されており、工業団地が形成されています。



凡例

- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域
- 都市計画区域

図 用途地域の指定状況（用途別）

資料：庄原市資料

2-2. 公共交通

(1) 鉄道

- JR 芸備線が市域を横断し、3つの都市計画区域を結ぶとともに、広島市方面や岡山県新見市方面への公共交通を担っています。また、備後落合駅から島根県松江市方面に JR 木次線が運行しています。
- 乗降客数は備後庄原駅が最も多く、次いで備後西城駅が多くなっており、年ごとの増減があるものの近年はおおむね横ばい傾向となっています。

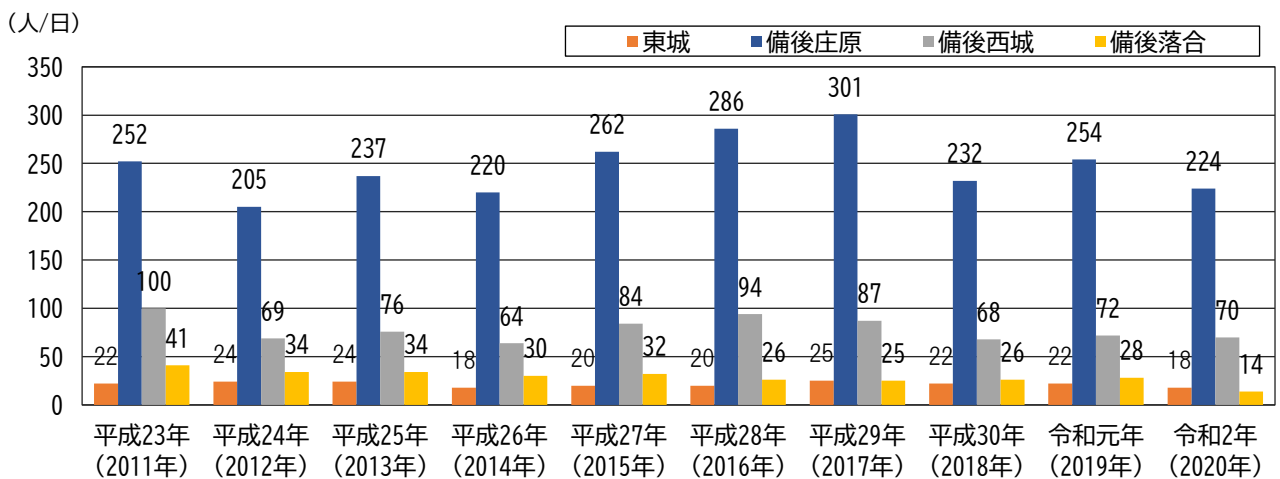
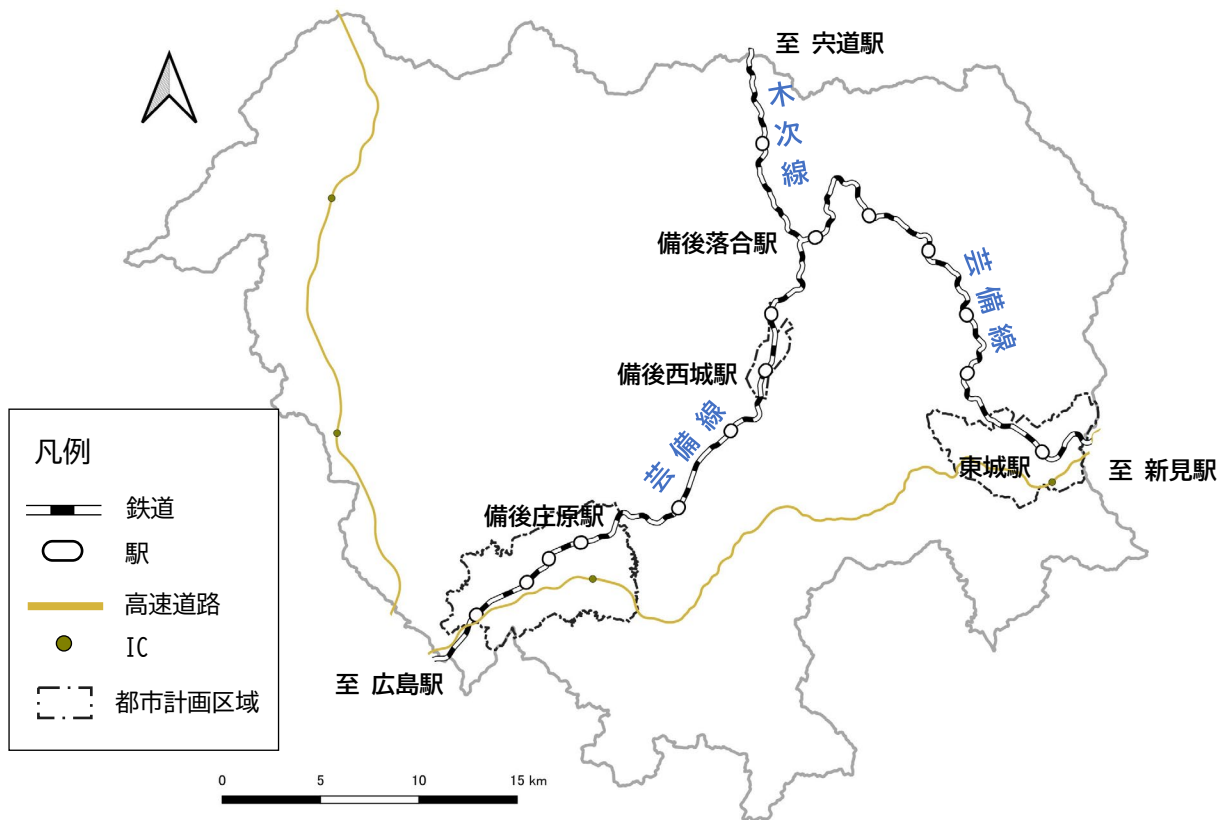


図 主要な鉄道駅の一曰平均乗降客数の推移

資料：広島県統計年鑑

(2) 路線バス等

- 民間事業者による路線バスのほか、市営の地域生活バスや乗合タクシーが運行されており、都市計画区域内の広い範囲をカバーしています。
- 1日の運行本数が10本以上の路線は、各都市計画区域内の一部の路線のほか、庄原～西城間を結ぶ路線や、中国自動車道を通り庄原～東城間を結ぶ路線があります。

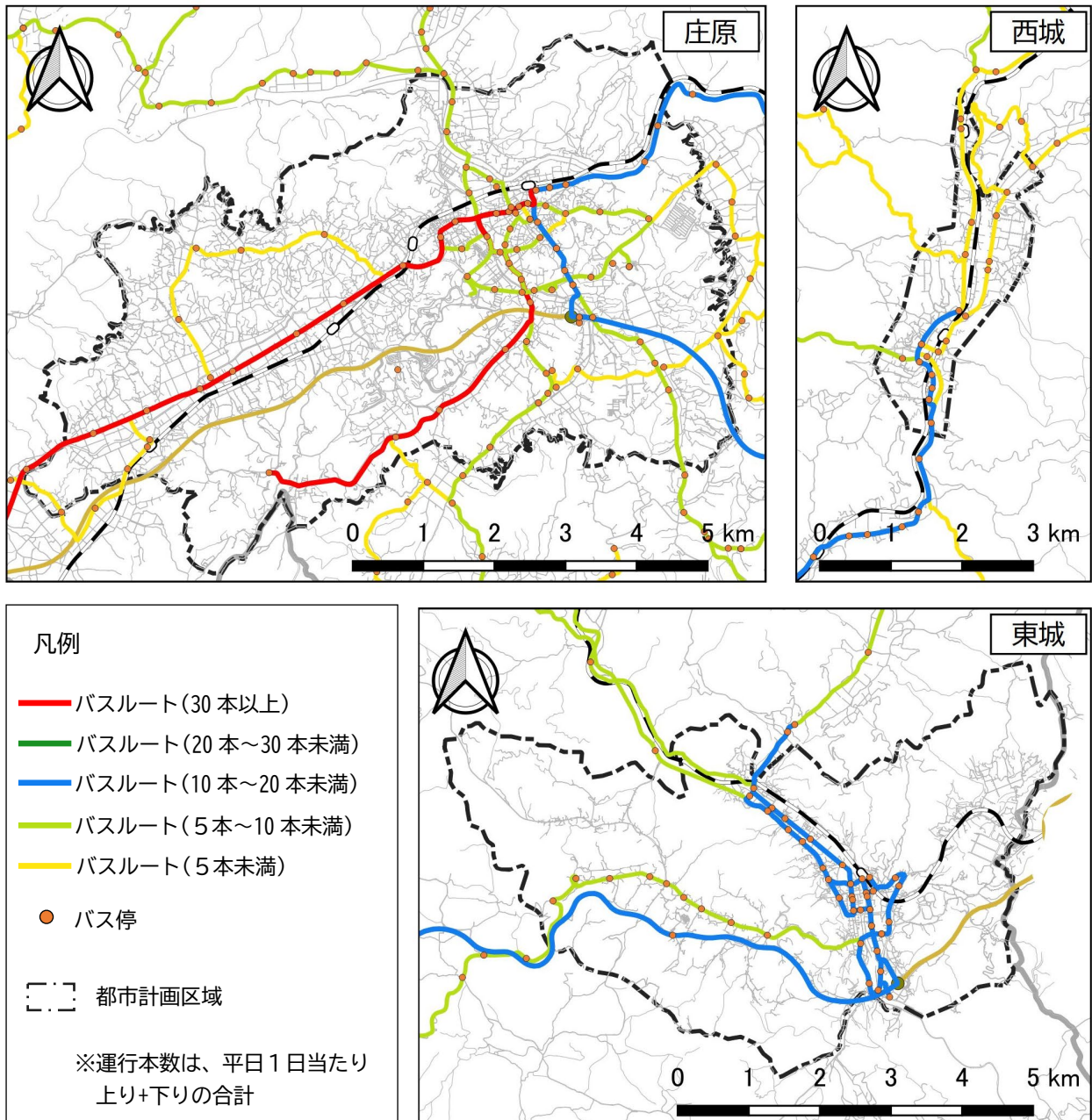


図 路線バス等の運行状況

資料：国土数値情報、バス事業者資料

2-3. 都市施設の立地

(1) 商業施設

- 各都市計画区域では、用途地域内を中心に、スーパー、大型専門店舗、コンビニエンスストアなどが集積しています。
- 商業施設の徒歩圏(半径 800m)人口カバー率は、都市計画区域内で 66.6%、用途地域内で 81.0%となっています。

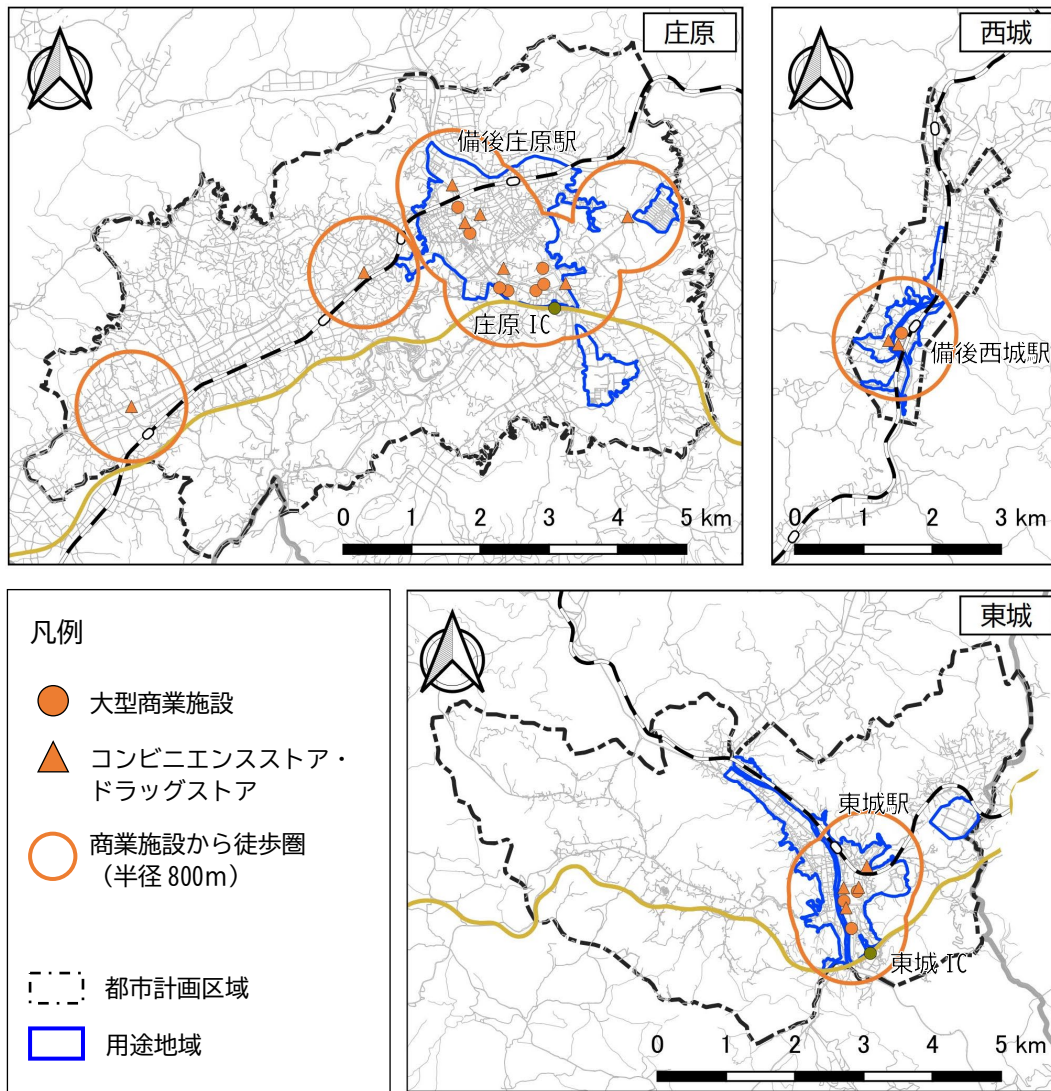


図 商業施設の分布状況と徒歩圏 (半径 800m)

資料：全国大型小売店総覧、各チェーン店 HP

※商業施設徒歩圏人口カバー率

	都市計画区域			用途地域		
	人口	商業施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)	人口	商業施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)
庄原都市計画区域	12,180 人	8,352 人	68.6 %	7,279 人	6,174 人	84.8 %
東城都市計画区域	3,766 人	2,418 人	64.2 %	3,130 人	2,311 人	73.8 %
西城都市計画区域	1,552 人	879 人	56.6 %	1,016 人	772 人	76.0 %
3区域合計	17,498 人	11,648 人	66.6 %	11,425 人	9,256 人	81.0 %

※都市計画区域及び用途地域の人口は庄原市資料(令和2年)より、徒歩圏内人口はGISによる算出
※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります

(2) 医療施設

- 庄原都市計画区域には「庄原赤十字病院」、東城都市計画区域には「東城病院」、西城都市計画区域には「西城市民病院」が立地しているほか、用途地域を中心に診療所等が立地しています。
- 医療施設の徒歩圏(半径 800m)人口カバー率は、都市計画区域内で 62.1%、用途地域内で 85.4%となっています。

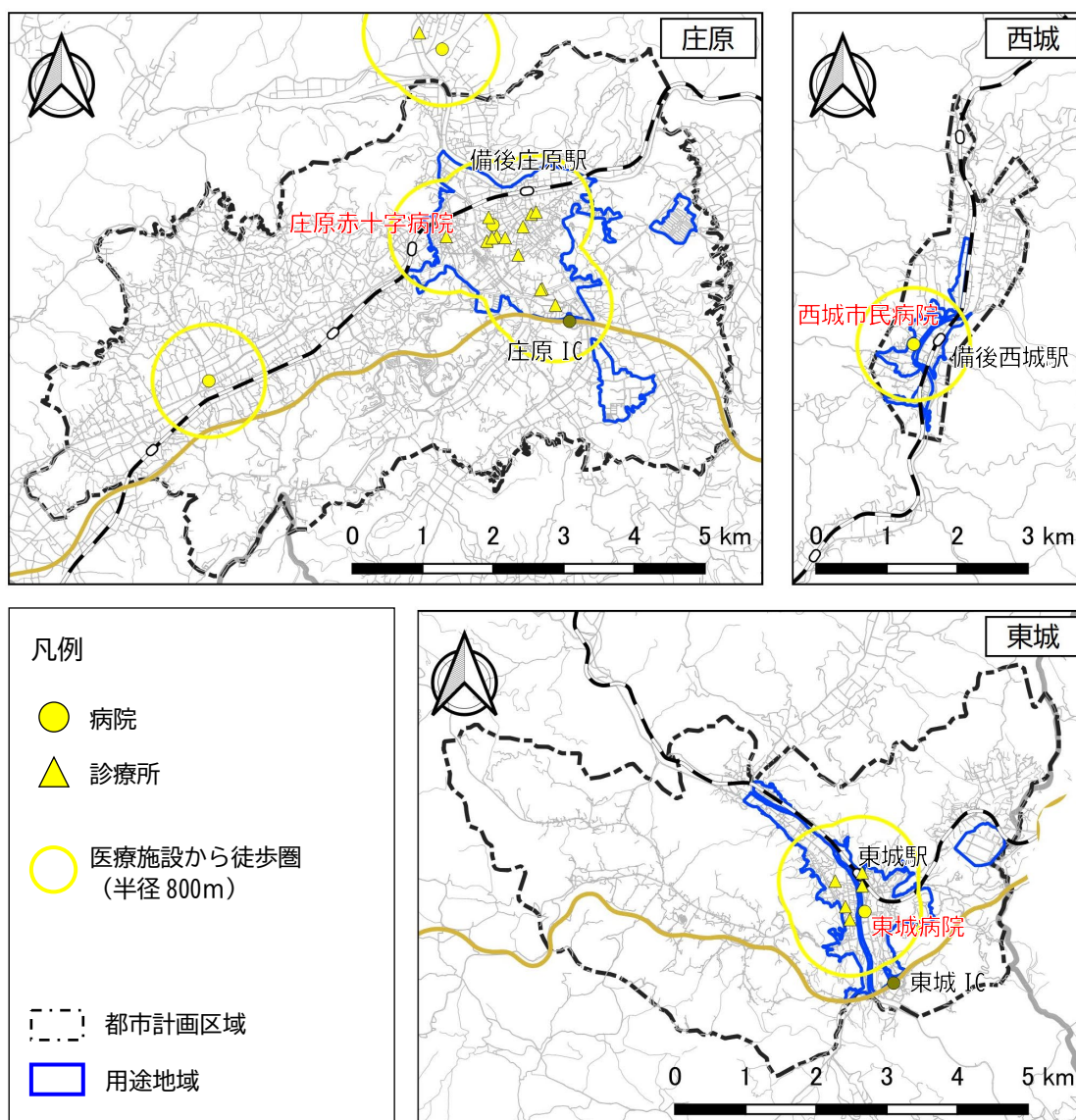


図 医療施設の分布状況と徒歩圏(半径 800m)

資料：国土数値情報、Google map

※医療施設徒歩圏人口カバー率

	都市計画区域			用途地域		
	人口	医療施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)	人口	医療施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)
庄原都市計画区域	12,180 人	7,415 人	60.9 %	7,279 人	6,412 人	88.1 %
東城都市計画区域	3,766 人	2,619 人	69.5 %	3,130 人	2,619 人	83.7 %
西城都市計画区域	1,552 人	833 人	53.7 %	1,016 人	725 人	71.4 %
3 区域合計	17,498 人	10,867 人	62.1 %	11,425 人	9,757 人	85.4 %

※都市計画区域及び用途地域の人口は庄原市資料(令和2年)より、徒歩圏内人口はGISによる算出
※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります

(3) 高齢者等福祉施設

- 庄原都市計画区域では、備後三日市駅周辺を中心に高齢者等福祉施設が集積しており、東城・西城都市計画区域では用途地域を中心に立地しています。
- 福祉施設の徒歩圏(半径 800m)人口カバー率は、都市計画区域内で 75.5%、用途地域内で 92.2%となっています。

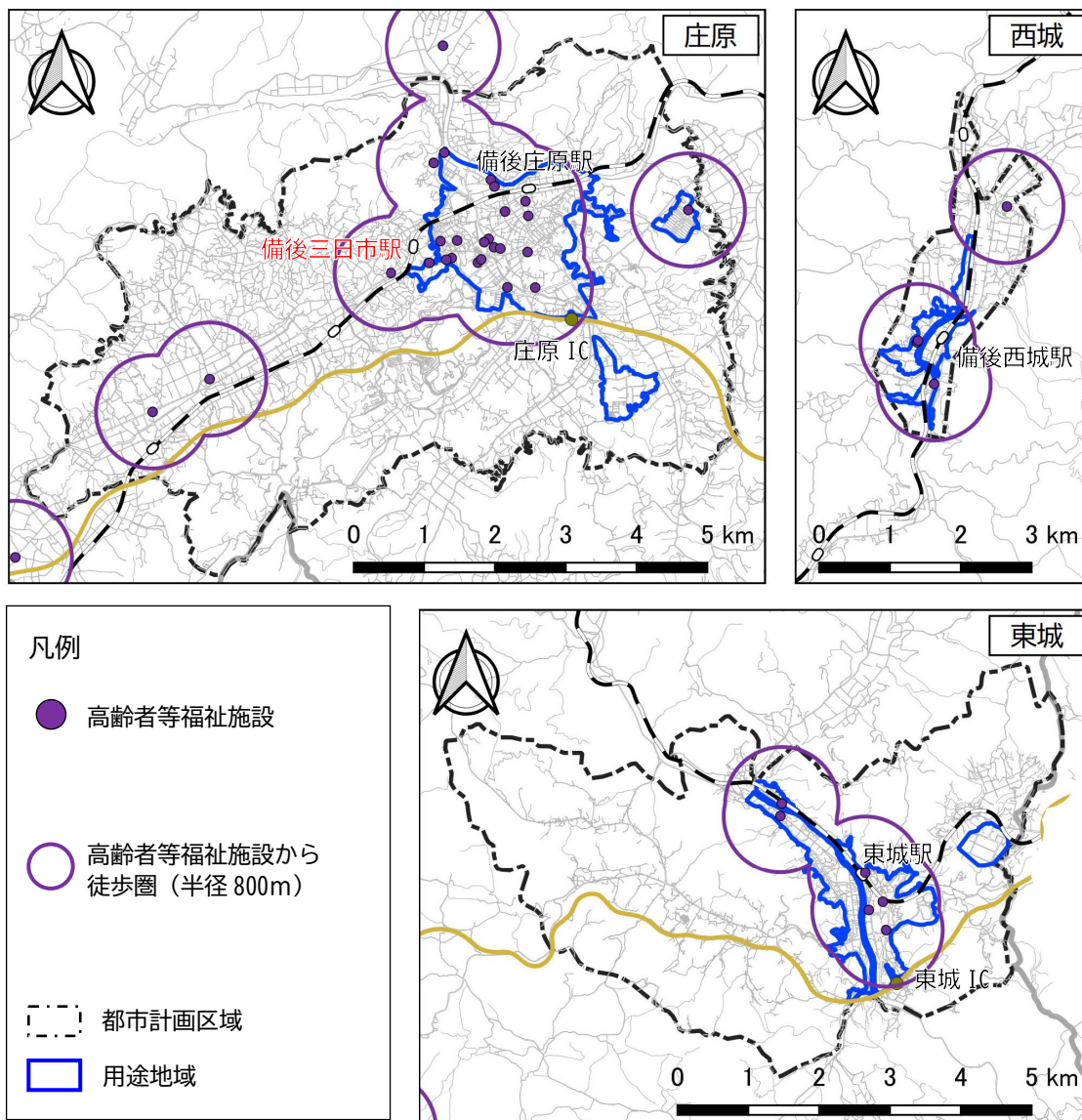


図 高齢者等福祉施設の分布状況と徒歩圏(半径 800m)

資料：国土数値情報、Google map

※高齢者等福祉施設徒歩圏人口カバー率

	都市計画区域			用途地域		
	人口	高齢者等福祉施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)	人口	高齢者等福祉施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)
庄原都市計画区域	12,180 人	8,772 人	72.0 %	7,279 人	6,596 人	90.6 %
東城都市計画区域	3,766 人	3,220 人	85.5 %	3,130 人	3,097 人	98.9 %
西城都市計画区域	1,552 人	1,217 人	78.4 %	1,016 人	840 人	82.7 %
3 区域合計	17,498 人	13,209 人	75.5 %	11,425 人	10,533 人	92.2 %

※都市計画区域及び用途地域の人口は庄原市資料(令和2年)より、徒歩圏内人口はGISによる算出
※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります

(4) 教育施設

- 各都市計画区域に、小学校・中学校・高等学校が立地しているほか、庄原都市計画区域には「県立広島大学」「県立農業技術大学校」及び「特別支援学校」が立地しています。
- 教育施設の徒歩圏(半径 800m)人口カバー率は、都市計画区域内で 69.9%、用途地域内で 87.2%となっています。

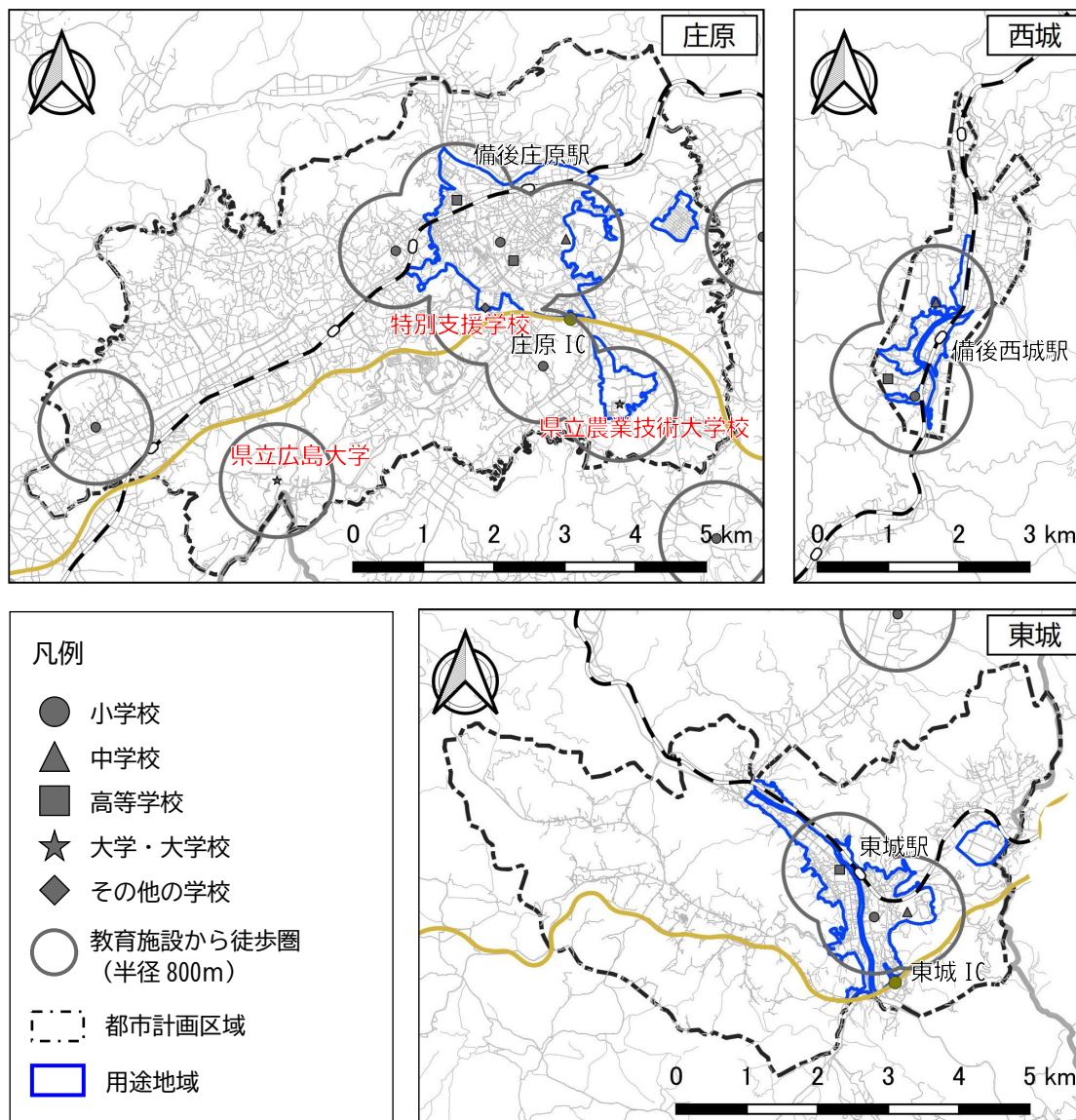


図 教育施設の分布状況と徒歩圏(半径 800m)

資料：庄原市資料

※教育施設徒歩圏人口カバー率

	都市計画区域			用途地域		
	人口	教育施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)	人口	教育施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)
庄原都市計画区域	12,180 人	8,369 人	68.7 %	7,279 人	6,335 人	87.0 %
東城都市計画区域	3,766 人	2,732 人	72.5 %	3,130 人	2,711 人	86.6 %
西城都市計画区域	1,552 人	1,134 人	73.1 %	1,016 人	916 人	90.2 %
3区域合計	17,498 人	12,235 人	69.9 %	11,425 人	9,961 人	87.2 %

※都市計画区域及び用途地域の人口は庄原市資料(令和2年)より、徒歩圏内人口はGISによる算出
※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります

(5) 子育て支援施設（保育所・子育て支援センター）

- 各都市計画区域に保育所が点在しているほか、庄原都市計画区域には地域型保育事業施設が立地しています。
- 子育て支援施設の徒歩圏(半径 800m)人口カバー率は、都市計画区域内で 62.0%、用途地域内で 75.0%となっています。

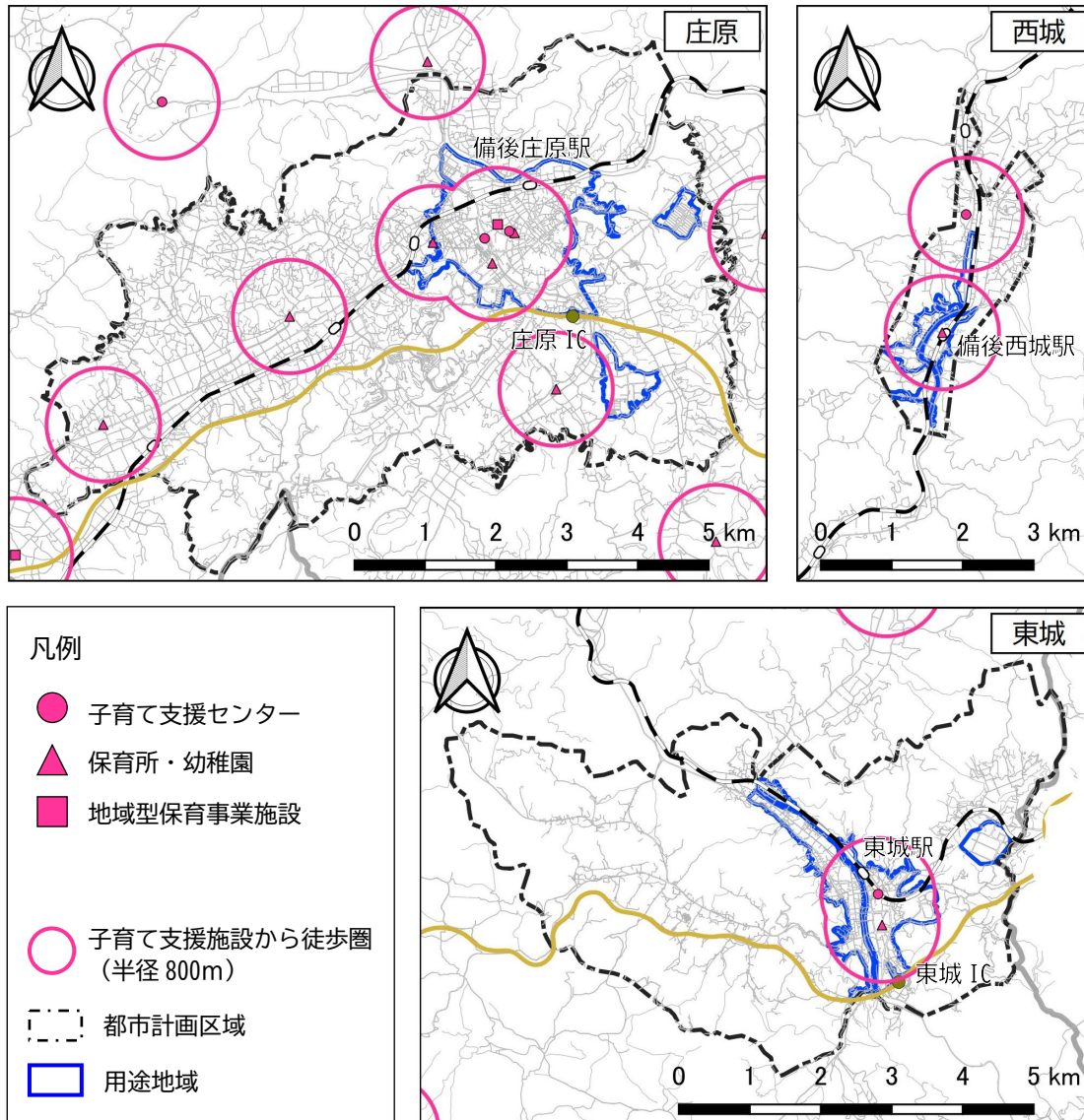


図 子育て支援施設の分布状況と徒歩圏（半径 800m）

資料：庄原市資料

※子育て支援施設徒歩圏人口カバー率

	都市計画区域			用途地域		
	人口	子育て支援施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)	人口	子育て支援施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)
庄原都市計画区域	12,180 人	7,310 人	60.0 %	7,279 人	5,435 人	74.7 %
東城都市計画区域	3,766 人	2,363 人	62.7 %	3,130 人	2,363 人	75.5 %
西城都市計画区域	1,552 人	1,177 人	75.8 %	1,016 人	767 人	75.5 %
3区域合計	17,498 人	10,850 人	62.0 %	11,425 人	8,565 人	75.0 %

※都市計画区域及び用途地域の人口は庄原市資料（令和2年）より、徒歩圏内人口はGISによる算出
※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります

(6) 金融施設

- 庄原都市計画区域は、広範囲に銀行・郵便局等が点在しています。東城・西城都市計画区域は、用途地域内を中心に立地しています。
- 金融施設の徒歩圏(半径 800m)人口カバー率は、都市計画区域内で 72.6%、用途地域内で 86.7%となっています。

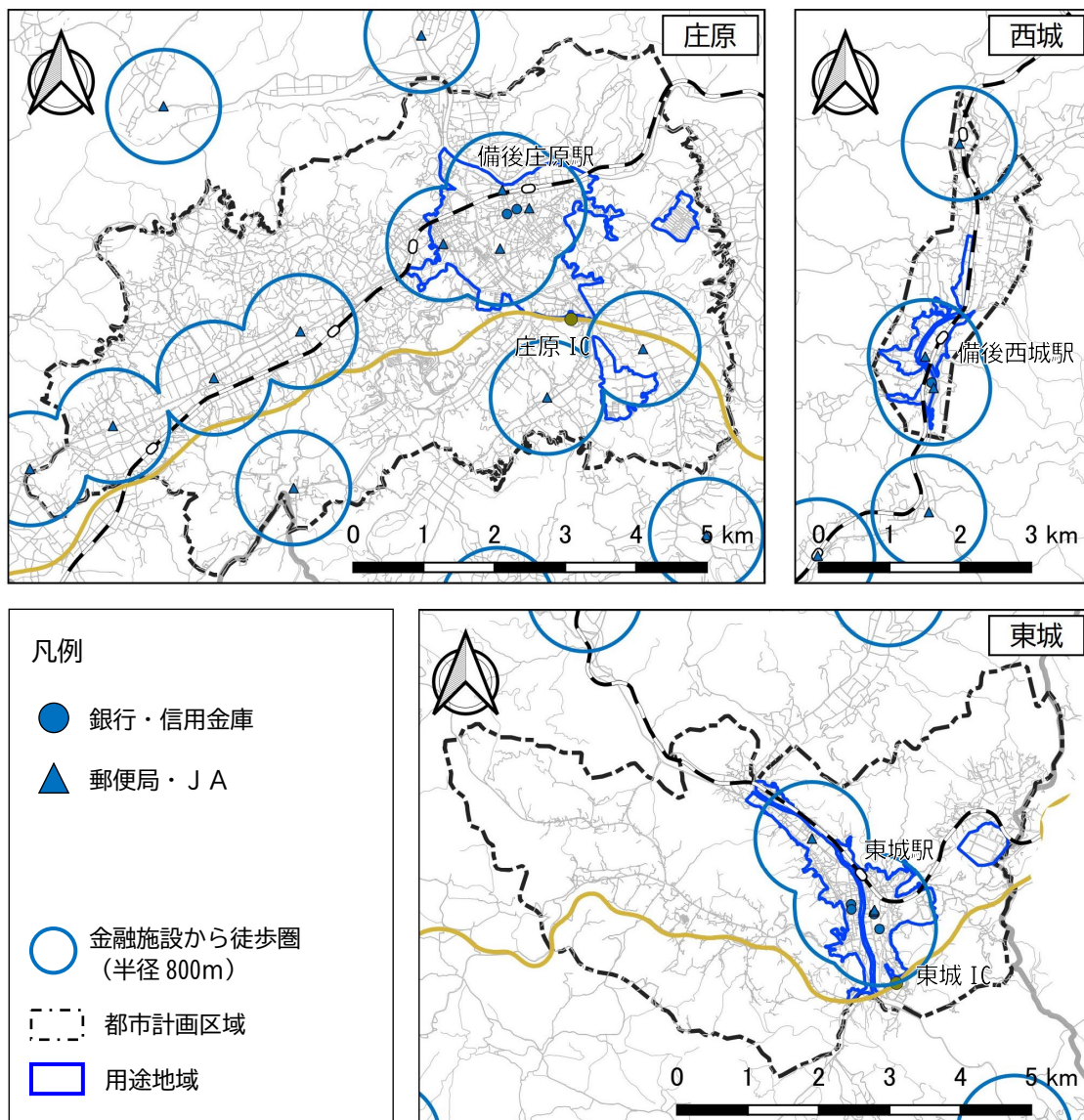


図 金融施設の分布状況と徒歩圏 (半径 800m)

資料：国土数値情報、各金融機関 HP

※金融施設徒歩圏人口カバー率

	都市計画区域			用途地域		
	人口	金融施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)	人口	金融施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)
庄原都市計画区域	12,180 人	8,617 人	70.7 %	7,279 人	6,026 人	82.8 %
東城都市計画区域	3,766 人	3,097 人	82.2 %	3,130 人	3,073 人	98.2 %
西城都市計画区域	1,552 人	984 人	63.4 %	1,016 人	802 人	78.9 %
3区域合計	17,498 人	12,698 人	72.6 %	11,425 人	9,900 人	86.7 %

※都市計画区域及び用途地域の人口は庄原市資料(令和2年)より、徒歩圏内人口はGISによる算出
※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります

(7) 行政施設

- 庄原都市計画区域に市役所本庁舎や国・県の機関が立地し、東城・西城都市計画区域に市役所支所が立地しているほか、各都市計画区域に警察・消防施設が立地しています。
- 行政施設の徒歩圏(半径 800m)人口カバー率は、都市計画区域内で 61.5%、用途地域内で 82.2%となっています。

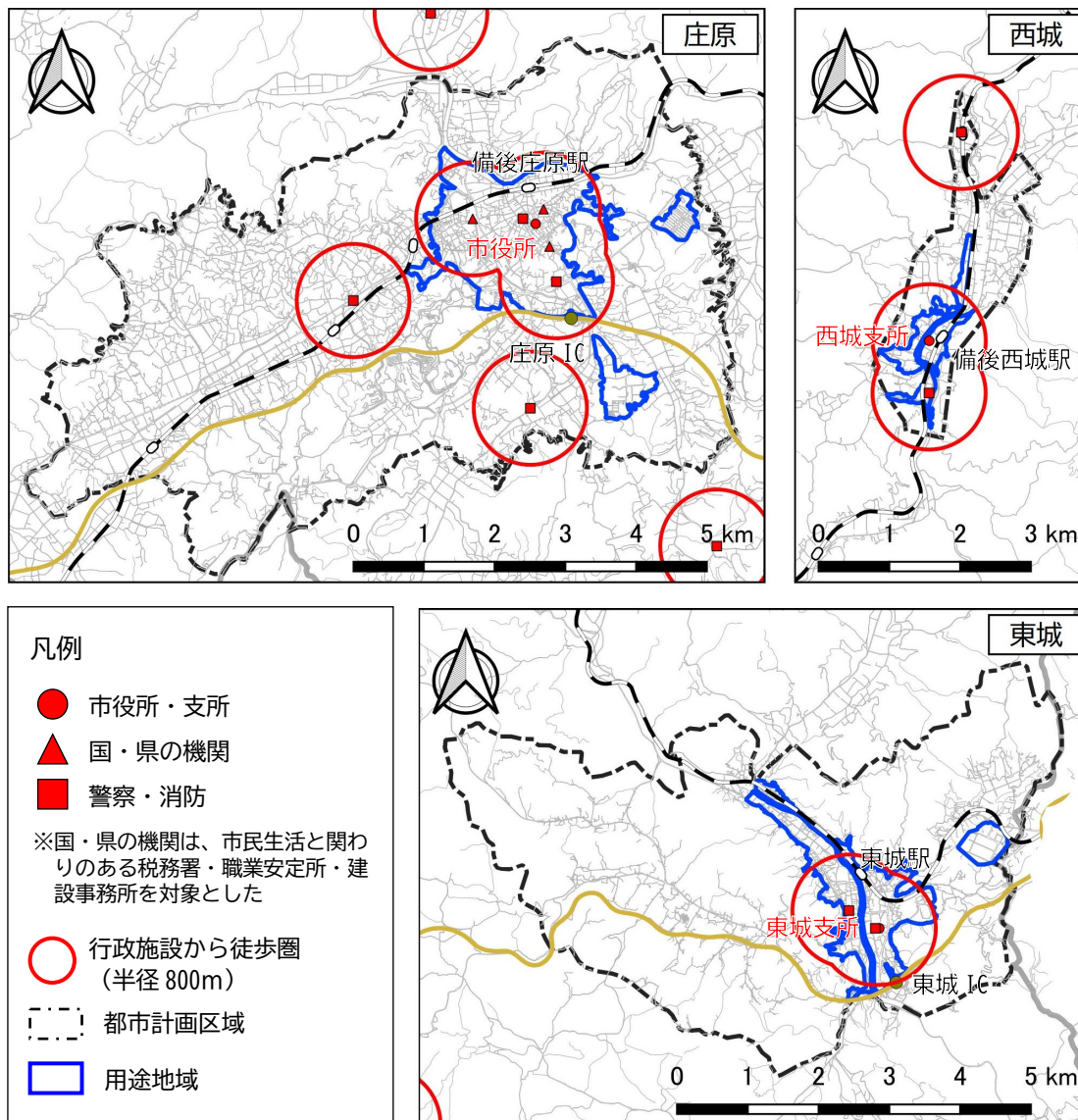


図 行政施設の分布状況と徒歩圏(半径 800m)

資料：国土数値情報、庄原市資料

※行政施設徒歩圏人口カバー率

	都市計画区域			用途地域		
	人口	行政施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)	人口	行政施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)
庄原都市計画区域	12,180 人	7,388 人	60.7 %	7,279 人	6,203 人	85.2 %
東城都市計画区域	3,766 人	2,367 人	62.9 %	3,130 人	2,367 人	75.6 %
西城都市計画区域	1,552 人	1,003 人	64.6 %	1,016 人	821 人	80.8 %
3 区域合計	17,498 人	10,758 人	61.5 %	11,425 人	9,391 人	82.2 %

※都市計画区域及び用途地域の人口は庄原市資料(令和2年)より、徒歩圏内人口はGISによる算出
※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります

(8) 文化・交流施設

- 庄原都市計画区域には、「庄原市民会館」が立地しているほか、各都市計画区域に、文化施設や交流施設、体育施設等が立地しています。
- 文化・交流施設の徒歩圏(半径 800m)人口カバー率は、都市計画区域内で 67.3%、用途地域内で 82.3%となっています。

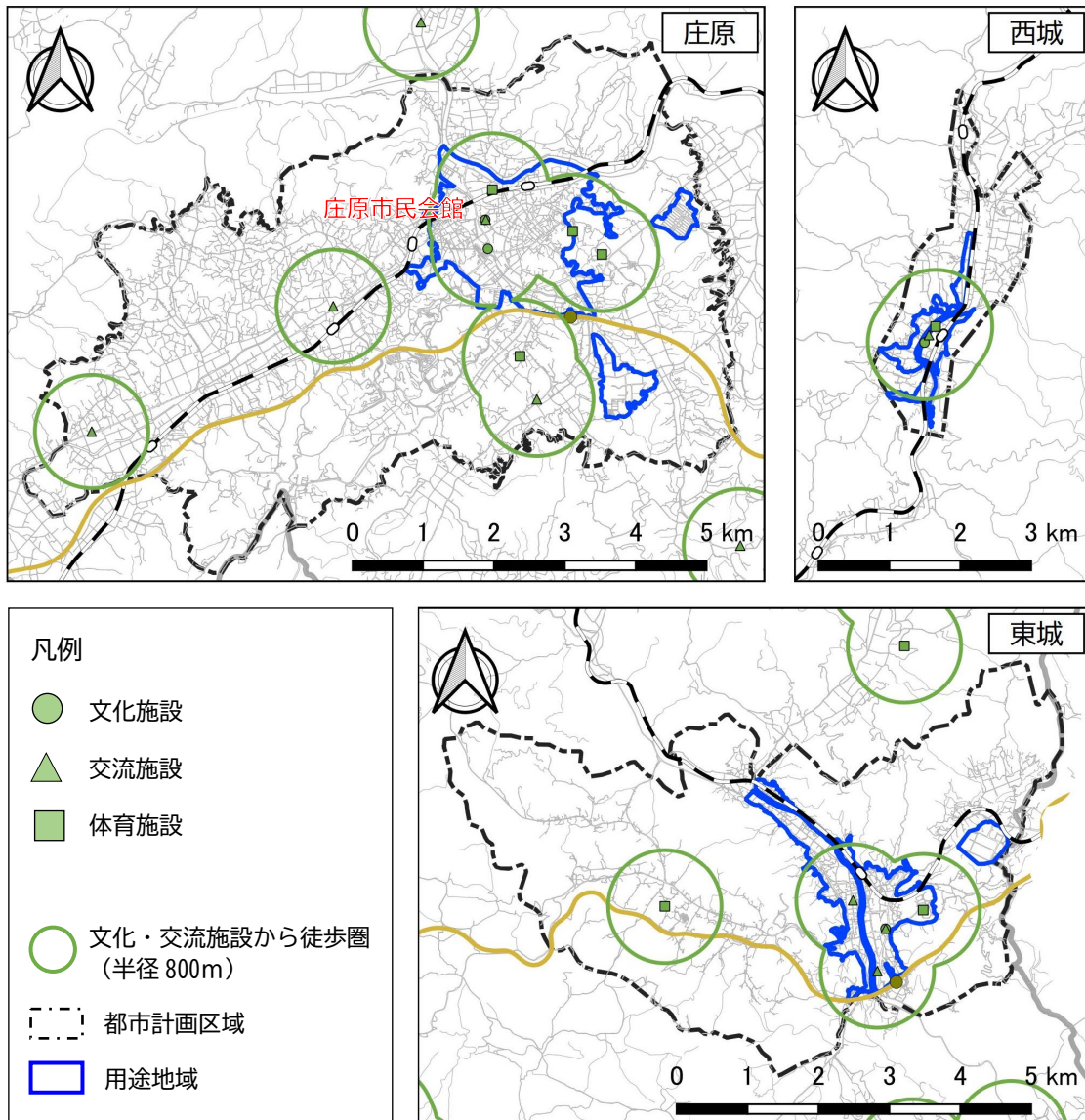


図 文化・交流施設の分布状況と徒歩圏(半径 800m)

資料：国土数値情報、庄原市資料

※文化・交流施設徒歩圏人口カバー率

	都市計画区域			用途地域		
	人口	文化・交流施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)	人口	文化・交流施設 徒歩圏人口	割合 (人口カバー率)
庄原都市計画区域	12,180 人	8,064 人	66.2 %	7,279 人	6,066 人	83.3 %
東城都市計画区域	3,766 人	2,793 人	74.2 %	3,130 人	2,557 人	81.7 %
西城都市計画区域	1,552 人	925 人	59.6 %	1,016 人	782 人	77.0 %
3 区域合計	17,498 人	11,782 人	67.3 %	11,425 人	9,404 人	82.3 %

※都市計画区域及び用途地域の人口は庄原市資料(令和2年)より、徒歩圏内人口はGISによる算出
※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります

2-4. 客観的基礎データによる都市構造の評価

- 本市の都市構造について、類似規模都市（人口 10 万以下）との偏差値による比較や、隣接する都市（三次市/岡山県新見市）との相互比較等を行うことにより、特徴を客観的かつ定量的に把握しました。
- 評価は、「都市構造の評価に関するハンドブック（平成 26 年(2014 年)8 月、国土交通省）」及び「都市モニタリングシート（平成 31 年(2019 年)版、国土交通省）」に基づき、6つの評価分野によって行いました。

【都市構造評価分野】

- ① 生活利便性(都市機能や居住機能を適切に誘導することにより、歩いて行ける範囲に日常生活に必要な医療・福祉・商業などの生活機能と公共交通サービス機能が充足したまちを実現すること)
- ② 健康・福祉(市民の多くが歩いて回遊する環境を形成することにより、市民が健康に暮らすことができるまちを実現すること)
- ③ 安心・安全(災害や事故等による被害を受ける危険性が少ないまちを実現すること)
- ④ 地域経済(都市サービス産業が活発で、健全な不動産市場が形成されているまちを実現すること)
- ⑤ 行政運営(市民が適切な行政サービスを受用できるよう、自治体財政が健全に運営されているまちを実現すること)
- ⑥ エネルギー/低炭素(エネルギー効率がよく、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量が少ないまちを実現すること)

【使用するデータ】

各評価指標の中から、本市の現況値が明らかになっている以下の項目について評価。

表 都市構造評価 項目一覧

評価分野	評価指標（単位）
生活利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率（％）
	H27(2015)人口密度/S45(1970)DID 面積(人/ha)
	生活サービス施設の徒歩圏（800m）人口カバー率（医療・福祉・商業）（％）
	基幹的公共道路（駅/バス停）の徒歩圏（800m/300m）人口カバー率（％）
	生活サービス施設の利用圏平均人口密度（医療・福祉・商業）(人/ha)
	公共交通沿線地域（駅/バス停）の徒歩圏（800m/300m）の人口密度(人/ha)
	公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合（％）
	生活サービス施設の利用圏（800m）平均人口密度（医療・福祉・商業）(人/ha)
	市民一人当たりの小型車走行台キロ(台キロ/人)
健康・福祉	公共交通沿線地域の人口密度(人/ha)
	高齢者徒歩圏内（500m）に医療機関がある住宅の割合（％）
	高齢者福祉施設の1km圏内高齢人口カバー率（％）
	保育所の徒歩圏（800m）0～4歳人口カバー率（％）
	高齢者徒歩圏内に公園がある住宅の割合（％）
安全・安心	歩道整備率（％）
	市民1万人当たりの交通事故死亡者数（人）
	最寄り緊急避難場所までの平均距離(m)
地域経済	空き家率（％）
	従業者1人当たり第三次産業売上高（百万円/人）
	市域全域の小売商業床面積あたりの売上高(万円/m ²)
行政運営	用途地域内の小売商業床面積あたりの売上高(万円/m ²)
	市民1人当たりの歳出額（公共施設等の維持・管理・更新費）(千円)
	財政力指数
エネルギー/低炭素	市民1人当たり税収額（個人市民税・固定資産税）（千円）
	市民1人当たりの自動車CO2排出量（t-CO2/年）

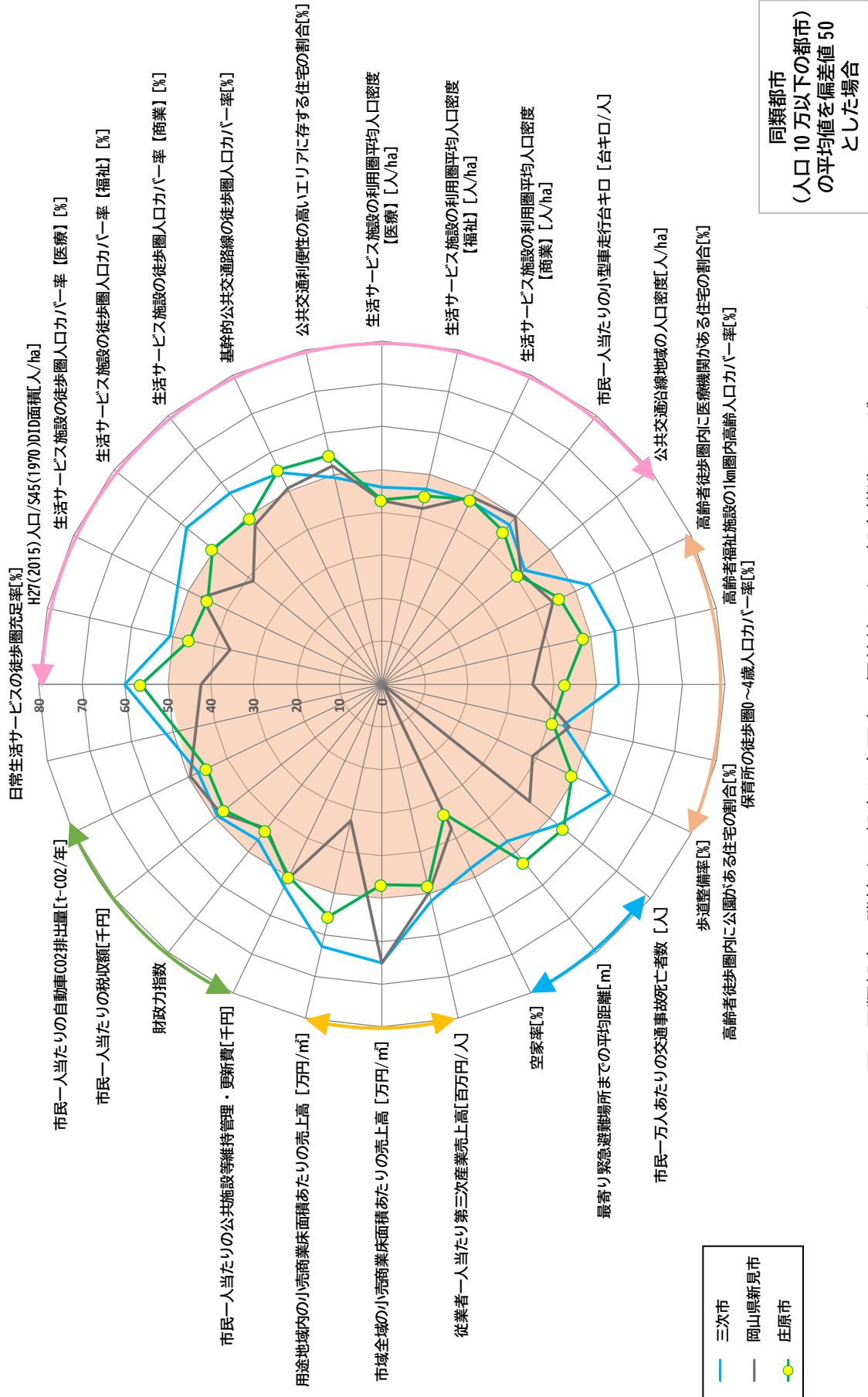


図 同類都市、隣接する都市と庄原市の偏差値による都市構造リーダーチャート

表 同類都市、隣接する都市と庄原市の偏差値比較

評価分野	評価指標	単位	類似規模都市	庄原市		三次市	岡山県新見市	
			平均値	データ	偏差値	偏差値	偏差値	
生活 利便性	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	10.6	19.2	56	60	42	
	H27(2015)人口/S45(1970)DID 面積	人/ha	28.3	21.6	46	51	36	
	生活サービス施設の 徒歩圏 人口カバー率	医療施設徒歩圏 (800m)	%	54.1	44.5	45	53	47
		福祉施設徒歩圏 (800m)	%	34.8	36.1	51	58	38
		商業施設徒歩圏 (800m)	%	31.6	30.3	49	57	47
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率 鉄道駅 (800m) 及びバス停 (300m) 徒歩圏	%	26.7	37.1	56	55	51	
	公共交通利便性の高いエリアに存する住宅割合 鉄道駅 (1Km) 及びバス停 (200m) 圏内	%	51.4	59.3	55	49	52	
	生活サービス施設の 利用圏 平均人口密度	医療施設徒歩圏 (800m)	人/ha	8.2	3.5	43	46	43
		福祉施設徒歩圏 (800m)	人/ha	7.3	3.5	45	47	42
		商業施設徒歩圏 (800m)	人/ha	10.2	8.1	48	47	48
市民一人当たりの小型車走行台キロ	台キロ/人	20.6	26.8	45	48	50		
公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	10.7	2.6	41	43	42		
健康 ・福祉	高齢者徒歩圏に医療機関がある住宅の割合	%	32.9	26.3	46	53	44	
	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	40.2	35.4	48	56	38	
	保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率	%	45.0	28.8	43	55	35	
	高齢者徒歩圏に公園がある住宅の割合	%	37.3	13.6	41	43	45	
	歩道整備率	%	52.3	50.4	49	59	39	
安全 ・安心	市民一人あたりの交通事故死亡者数	人	0.5	0.0	54	53	44	
	最寄りの緊急避難場所までの平均距離	m	747.3	626.3	53	47	—	
	空き家率	%	9.5	17.3	34	48	37	
地域 経済	従業者1人あたりの第三次産業売上高	百万円/人	12.7	10.1	48	52	50	
	小売商業床面積当たりの売上高 (都市全域)	万円/m ²	82.2	76.7	47	65	65	
	用途地域における小売商業床面積当たりの売上高	万円/m ²	37.9	60.6	56	63	33	
行政運営	市民1人あたりの歳出額 (公共施設等の維持・管理・更新費)	千円/人	854.7	863.2	50	52	50	
	財政力指数	—	0.4	0.3	44	47	43	
	市民1人あたりの税収額 (個人市民税・固定資産税)	千円/人	120.0	95.8	47	49	48	
エネルギー/ /低炭素	市民1人あたりの自動車CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	1.7	2.3	45	48	50	

他都市に対する本市の強み(偏差値 50 以上)
 他都市に対する本市の弱み(偏差値 45 以下)

【全国と同類都市(人口 10 万以下)、隣接する都市（三次市/岡山県新見市）との偏差値による比較】

【他都市に対する本市の強み】（偏差値 50 以上）

【生活利便性】

- 医療、福祉、商業などの日常生活サービス施設が徒歩圏内に立地し、徒歩圏で必要な生活機能を享受できる環境にあります。また、駅やバス停周辺の公共交通利便性の高いエリアに住宅が集中しています。

【安全・安心】

- 自動車交通への依存度が高い傾向にある中、交通事故死亡者数は低くなっています。また最寄り緊急避難場所までの平均距離は短く、緊急時には即座に避難が可能な環境といえます。

【地域経済】

- 用途地域内の小売商業床面積あたりの売上高は高く、市街地部における日常生活サービスを支える商業系施設の売場効率は高いといえます。

【行政運営】

- 市民一人当たりの公共施設等維持管理・更新費は他と比べ評価は高く、効率的な公共施設等の維持管理が行われているといえます。

【他都市に対する本市の弱み】（偏差値 45 以下）

【生活利便性】

- ▼日常生活サービスの人口カバー率は高い傾向にありますが、施設利用圏の人口密度が低く、施設の分散化が見られます。また、公共交通沿線地域の人口密度も低く、公共交通サービスの水準や利用率の低下が懸念されます。各種施設や公共交通の維持をしていく上で、人口の集約が求められます。

- ▼市民一人当たりの小型車走行台キロ（台キロ/人）は、全国と同類都市や隣接する都市と比較して長い傾向にあり、コンパクトなまちとしての観点から評価は低い結果となっています。

【健康・福祉】

- ▼保育所の徒歩圏（800m）における0～4歳人口カバー率が低く、高齢者徒歩圏内に公園がある住宅の割合も低い状況にあることから、高齢者や子ども（子育て世代）に対する利便性の低さが懸念されます。

【安全・安心】

- ▼全国と同類都市や隣接する都市（三次市/岡山県新見市）と比較しても空き家率は高く、偏差値が低くなっていることから、空き家への対応は本市の喫緊の課題の一つといえます。

【行政運営】

- ▼財政力指数は低い傾向にあり、今後一層の効率的な行財政運営が求められます。

【エネルギー/低炭素】

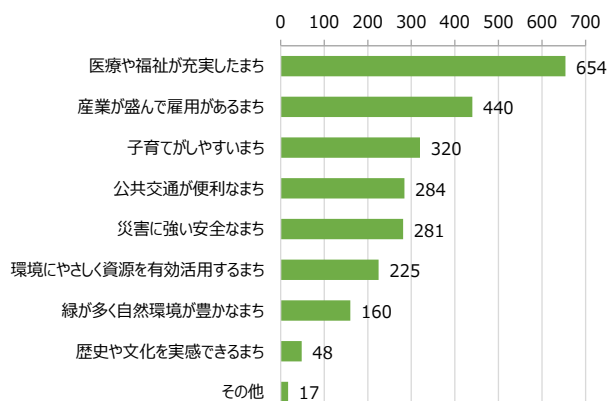
- ▼市民1人当たりの自動車CO2排出量は、全国と同類都市や隣接する都市と比較して多く、低炭素の観点からは指標が低い結果となっています。また、先の自動車走行台キロの低い評価も踏まえると、他都市と比べ分散型の都市構造であり、自動車交通への依存度が高いことが推察されます。

2-5. 都市づくりに関する市民のニーズ

本計画の策定及び「庄原市都市計画マスタープラン」の改定にあたり、市民の意見を把握し、計画に反映するため、アンケート形式による調査を実施しました。

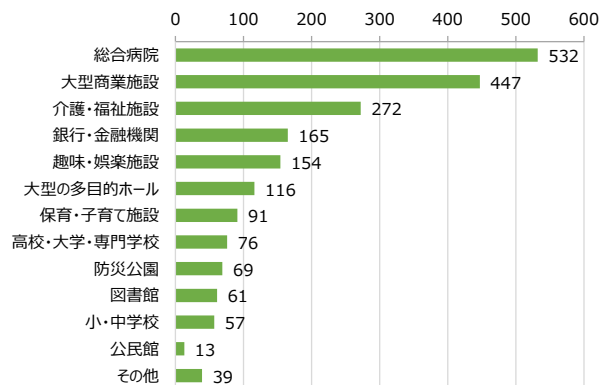
(以下、アンケート結果の一部抜粋)

●庄原市の将来について、どんな特長のあるまちになって欲しいと思いますか？



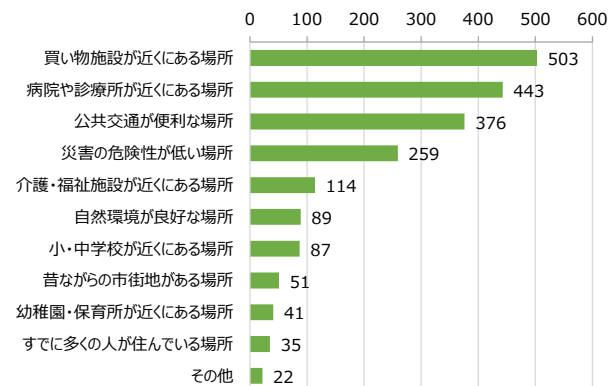
- 1位：医療や福祉が充実したまち
2位：産業が盛んで雇用があるまち
3位：子育てがしやすいまち

●まちの中心拠点には、どんな機能が集まっていたらよいと思いますか？



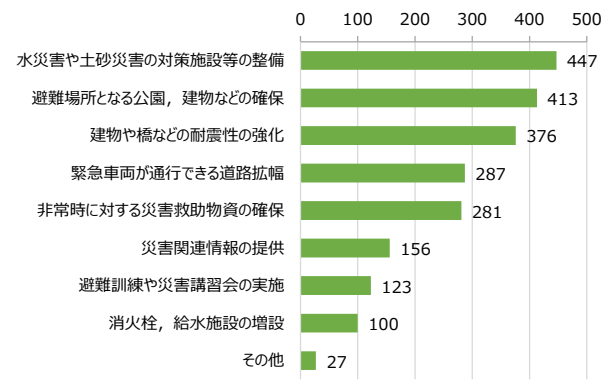
- 1位：総合病院
2位：大型商業施設
3位：介護・福祉施設

●住宅地を集約するならば、どんな場所がよいと思いますか？



- 1位：買い物施設が近くにある場所
2位：病院や診療所が近くにある場所
3位：公共交通が便利な場所

●災害に強いまちづくりに向けて、市のどんな取組が重要だと思いますか？



- 1位：水災害や土砂災害の対策施設等の整備
2位：避難場所となる公園、建物などの確保
3位：建物や橋などの耐震性の強化

アンケート対象者	満16歳以上の市民2,000人(外国人を除く)
調査方式	無記名回答方式
配布・回収	郵送により調査票を配布・回収
調査期間	令和3年(2021年)12月1日~12月17日(17日間)
回収率	45.4%

